

特定非営利活動法人 日本冒険遊び場づくり協会 第10回通常総会 議事録

日 時：2013年6月15日（土）13：00～15：00

場 所：神戸デザインクリエイティブセンター KIITO
(〒651-0082 神戸市中央区小野浜町1-4)

出席者数：出席正会員数	29名	(個人会員	21名、団体会員	8名)
委任表決者数	74名	(個人会員	51名、団体会員	23名)
書面表決者数	36名	(個人会員	27名、団体会員	9名)
正会員総数	311名	(個人会員	226名、団体会員	85名)

代表挨拶

開会に当たり、大村虔一代表より挨拶があった。

定足数確認

本会議における委任表決者数を含めた出席者総数（委任状含む）は139名であった。現在の正会員総数は311名であり、定款第26条の規定に基づく定足数62名を満たしていることが確認された。

議長選任

本会議の議長には、定款第25条の規定に基づき、大村虔一代表より三浦幸雄が選任された。

議事録署名人の選任

議長が議事録署名人の選任を議場に諮ったところ、正会員の武部雄三、入江雅子、および大村虔一が選任された。

議案審議

<決議事項>

第1号議案 2012年度事業報告および決算報告

議長は、2012年度の事業報告について、各担当理事に説明を求めた。事前配布資料（資料1）をもとに、総括と事業01-08を各担当理事から説明がなされた。

事業01 遊び場づくりによる震災復興支援について、事前に回収した書面表決にて反対意見が1件あったことについて言及した。「放射線に対する危険性の判断基準」を協会として曖昧にしたまま外遊び支援を続けていくことに対し、限界を感じる」という意見があった。これに対し、須永理事より、「被災地の現状として、放射線量が高い地域からの冒険遊び場づくりの要請が今のところなく、地域が望んでいない場所に協会から打ち出すことはない」と回答した。また、放射線の問題に関し、「組織内で感情的な分断が起きぬよう、フラットに意見を出し合える場が設けられることを希望する」という意見に対しては、佐々木理事より「メーリングリスト等で会員の中で話し合うことについては了承するが、地域の方の意思に寄り添うことこそが協会の姿勢であることをご理解いただきたい」と回答した。

次に議長は、2012年度決算について佐々木理事に説明を求めた。事前配付資料（資料2および参考資料）をもとに佐々木理事から2012年度決算、加えて会員値上げ後の協会の財政再建の取り組みについて説明がなされた。

以上の事業および決算報告を受け、議長は奥村監事に監査に関する報告を求めた。

奥村監事は、会計、事業監査を経て作成した、「会計監査検討経過報告」「事業監査検討経過報告」の報告がなされた。

以上の報告ののち、議長は2012年度事業報告および決算について、議場に承認を諮ったところ、満場一致で定款39条による議決を得た。

第2号議案 2013年度事業計画および予算

議長は、2013年度事業計画について、各担当理事に説明を求めた。事前配布資料（資料3）をもとに、議長より全体の概要が、各理事より各事業について報告がなされた。2013年度予算については、佐々木理事より事前配布資料（資料4）をもとに説明がなされた。

上記議案の後、議長は質疑応答を以下の通り行った。

1. 事業01復興支援（東日本大震災復興支援事業）に関する質疑応答

質問者：小林中氏

質問内容：復興支援事業のホームページについて、更新が遅いのではないかと。期限と募資金額は随時公表すべきではないかと。協会は寄付を募る立場なので、情報発信することを大切にしたい。

回答者：天野秀昭理事

回答：協会は中間支援組織である。地元のこうありたい、という要望に応じていくのが役目であると考えており、今後も継続していく予定である。7月に今年からの復興支援5カ年計画を策定する予定であり、確定次第発信していきたい。

2. 事業03全国集会（第6回冒険遊び場全国研究集会）に関する質疑応答

質問者：石田太介氏

質問内容：助成金が獲得できていない状態での全国研究集会実施は、協会運営の視点での確だったのだろうか。協会資金持ち出しで、マイナスが出ることに對する説明を求める。

回答者：佐々木健二理事

回答：前回の全国研究集会より、次回のために内部留保を確保しており、今回はその資金を使用することとなる。助成金が採択されていれば、一番良い形で開催することができたが、それが叶わなかった。全国研究集会は3年に一度の全国の冒険遊び場に関わる人々の集会であり、理事会としては会員が待ち望んでいると考え、開催しないことは失望に繋がるのではないかと判断し、開催を決断した。

回答者：古賀久貴理事

回答：参加費等、収入をわずかながらでも補填する試みは行う。これからの全国研究集会も見据え、資金的にミニマムな形での開催を模索する。

3. 組織運営に関する質疑応答

質問者：松田秀太郎氏

質問内容：会員が横ばいであることから、協会が会員を募ることへ、積極的な施策をしているのか疑問を感じる。プレーパークの箇所数は増加しているので、連動して会員が増えるとよい。

回答者：梶木典子理事

回答：全国研究集会を機に、会員数増を目指す。そのためには広報的なアピールも戦略立てて行い、会員自身にも周囲に冒険遊び場のすばらしさを伝え、会員を募るような役割を期待している。

回答者：三浦幸雄理事

回答：認定NPOに向けて、協会の運営体制を整え、再来年チャレンジする予定である。認定NPOの取得が実現すれば、広報的にも協会は成熟した団体としてアピールできる。これは会員増に繋がることと考えている。

以上の質疑応答を終え本議案は終了した。

議長解任

以上をもって議長を解任し、閉会した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

平成25年7月30日

議長：三浦 幸雄



議事録署名人：武部 雄三



議事録署名人：入江 雅子



議事録署名人：大村 虔一

